



知ってた？

ES
D
G
S

SDGs(持続可能な開発目標)という言葉が耳にしたことありますか？今、世界中で「持続可能」をキーワードにさまざまな取り組みがなされています。この串間市でも、新エネルギーを切り口としたまちづくりを図っていくために、4月より「新エネルギー政策室」が発足しました。

SDGsってなんの？

「持続可能な開発目標」という意味のSDGsは、2015年国連サミットで採択されたもので、国連加盟国193カ国が2016年、2030年の15年間で達成するために掲げた17の目標のことです。

17の目標は下の図(SDGsの17の目標)にあるようにさまざまな分野が網羅され、すべての国が取り組まなければいけない課題を含んでいます。つまり、この17の目標をすべてクリアすることができれば、持続可能かつ、世界平和がいよいよ目前という状態に持っていけるのです。

「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包括性のある社会の実現のために、17の持続可能な開発目標を達成の期限である2030年に向けて、現在、すべての国が取り組んでいます。

個別での取り組みは？

SDGsの取り組みは、企業、地域、自治体などにおいて、それぞれの地域やスタイル、状況、環境などに合わせた特色あるものを持続可能な開発目標を掲げて推進しています。特に近年は良く耳にすることもあり、地方創生の推進を図る上でも必要不可欠なものであると言えます。

九州内における SDGsの先進的な取り組み (一部)

- 北九州市** 地域エネルギー次世代モデル事業
- 壱岐市** Industry4.0を駆使したスマート6次産業化モデル構築事業
- 小国町** 特色ある地域資源を生かした循環型の社会と産業づくり
- 大崎町** リサイクル率日本一 (混ぜればゴミ、分ければ資源)

SDGsの理念に沿った動きは本市でも！

「新エネルギー政策室」が発足しました!!

本市では、以前から豊かな自然の恵みをまちづくりに生かす構想がありました。そして今回、新エネルギーをまちづくりの軸として、資源循環、自然共生、脱炭素による持続可能な地域社会の実現を目指して、総合政策課内に「新エネルギー政策室」を設置しました。今後、本市のさまざまな事業を相互につなぎ合わせていくことで、地域活性化と循環型社会の形成を目指します。

現在の取り組みは、市内発電所を見学にお越しいただいた方々に先行的にパンフレットなどを配布する取り組みを行っており、将来的には市内で稼働または稼働予定であるバイオマス、太陽光、小水力、風力のすべての発電所とエコツーリズムや既存の観光メニューを組み合わせた「産業観光」の確立のため、宮崎大学などと連携し、交流人口の増加と経済の活性化を目指していきます。

他にも、自家消費する目的で太陽光発電と蓄電池をセットで設置する世帯については、市から補助金を支

給する新たな取り組みを今年度から始めました。また、市民向けにこれからの新エネルギーを活用したまちづくりの方向性を共有する講演会を開催予定です。

今後はさまざまなステークホルダー(=利害関係者)が一体となって本市のまちづくりに取り組んでいきますのでご理解とご協力をお願いします。



SDGsの17の目標



「SDGs」って何の略？

- S** ... Sustainable (=持続可能な) サステイナブル
- D** ... Development (=開発) ディベロップメント
- Gs** ... Goals(=目標) ゴールズ

日本では、SDGsの推進に向けて2016年に内閣を主体とする「SDGs推進本部」が発足しています。この本部は、内閣総理大臣を本部長、すべての閣僚を構成員とし、日本のSDGsの推進に向けた取り組みなどの司令塔として機能するものです。

日本は、SDGsの17の開発目標

SDGs実施指針の概要

People	1 あらゆる人々の活躍の推進 2 健康・長寿の達成
Planet	3 成長市場の創出、地域活性化、科学技術イノベーション 4 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備
Prosperity	5 省・再生可能エネルギー、気候変動対策、循環型社会 6 生物多様性、森林、海洋島の環境の保全
Peace	7 平和と安全・安心社会の実現
Partnership	8 実施推進の体制と手段

を国内向けに再構築した8つの優先分野を社会・経済・環境の三側面を生かし、国内外を問わず世界の国づくり・人づくりに貢献していきます。